



みんなの広場

↓見応えがある激しい取り組みの連続に、観客も思わず息を飲んでいました。



12.4



赤ちゃんの取り上げ式



伊万里清甚会による相撲甚句

地 猿田彦大神奉納『申相撲大会』  
区の誇りをかけた真剣勝負

二里町中里地区で12年に1度行われる『申相撲大会』が、作井手公民館裏に設置された野外相撲場でありました。神事や小学生の紅白試合奉納、申年生まれの子どもの取り上げ式のあと、消防団対抗リーグ試合や各地区対抗リーグ試合を開催。しだいに雨足が強まり、団体戦の決勝トーナメントと個人戦は中止となりましたが、地元の『力士』による迫力ある多彩な取組が次々と繰り広げられ、集まった観客は喝采を送っていました。

火 神原八幡宮『取り追う祭り』  
の粉舞う勇壮な伝統行事

二里町大里地区に継承される神事『取り追う祭り』が、神原八幡宮でありました。毎年12月最初の卯の日の前夜に行われ、もち米を握った『御供さん』をめぐる攻め手と守り手が激しい攻防を展開。演芸場には火の粉の雨が降り注ぎ、威勢がいい掛け声が響き渡りました。攻め手が御供さんを奪うと、観客などにふるまわれ、無病息災を祈りました。



12.10

↑竹を束ねて作った松明を打ち付け、火の粉を浴びせる守り手

↓大川内山を通る秘窯の里・鍋島コース(約12km)を歩く参加者



11.23

歩 魅力あふれる 夢のまち・伊万里ウオーク2016  
歩いて巡る、伊万里の秋

市内のさまざまな名所を歩いて巡る『伊万里ウオーク2016』がありました。市内外から500人が参加し、それぞれ伊万里湾岸・大川内山・市街地を通る3つのコースに分かれて、晩秋の風景などを楽しみました。ゴール後には、温かいだご汁がふるまわれたほか、伊万里牛などの特産品が当たる抽選会も行われ、参加者は爽やかな秋のひとときを過ごしました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎23 43 13 広報係直通)

## 家々 明治時代から受け継がれる伝統行事『頭わたし』

大坪町古賀地区で、氏神様『今岳大権現』の分霊を1年間世話する当番(頭)の引き継ぎ式『頭わたし』がありました。『頭』は地区の14班が輪番で担当。分霊を預かる家には福が来るとされています。今回の当番班がくじを引いてそれぞれの役割が決まると、顔を墨でくま取りし、大権現や神主、ほら貝吹きなどの衣装をまとして地区を巡行しました。



↑顔をくま取りし、地区内の巡行に出かける今年の世界役たち

↓『生まれてくることは当たり前じゃない』と話す柴田さん



## 誰 ハートフルフォーラム2016 in 伊万里

市民センターで、『ハートフルフォーラム2016 in 伊万里』がありました。伊万里農林高校の生徒会が企画・運営に参加し、司会進行や意見発表、紙芝居上演などを担当。講演会では、柴田眞祐(しまたまゆ)さん(大分県佐伯市職員)が、自身の経験などをもとに命の大切さを訴えました。また人権コンサートも行われ、来場者は人権問題への理解を深めていました。

↓観客を魅了した伊万里吹奏楽団(平成28年5月結成)の演奏



## ふるさとの明日を歌おう〜第25回市民音楽祭〜

市民センターで市民音楽祭が開催されました。当日は、今回初出場の伊万里吹奏楽団の華やかな演奏でスタート。市内で活動する16団体236人が、吹奏楽やバイオリン、箏、ハーモニカなど多彩な演奏や歌を披露しました。最後は、伊万里中学校吹奏楽部の伴奏で、出演者と観客が『伊万里讃歌』を合唱。美しい歌声が会場に響き渡りました。

## 大 市防災訓練 規模な地震の発生に備えて

市内に震度6強の地震が発生したとの想定で市防災訓練がありました。黒川公民館では、住民や警察、自衛隊などの関係機関が参加し、外国人・高齢者の避難訓練や、エコノミークラス症候群の予防訓練などを実施。ドローン(小型無人航空機)を活用した現地合同対策本部訓練も初めて行われ、関係機関の相互の協力体制を確認しました。



↑ドローンの映像を基に指示を出す塚部芳和市長(中央)